

教科	理科	科目	生物基礎	学年	2	単位数	2
類型	共通 ・ 文系 ・ 理系			履修規程	必修 ・ 選択		
学習の到達目標				使用する主な教材			
日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。 センター試験に対応できる学力を到達目標とする。				生物基礎（東京書籍） 生物基礎研究ノート（博洋社）			
期	月	配当時間	学習内容	学習の具体的内容とねらい			
第一 学期	4	7	1編 生物の特徴 1章 生物の共通性と多様性 2章 生命活動とエネルギー	生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解する 生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する			
			5	1	中間考査		
	6	10	2編 遺伝子とそのはたらき 1章 生物と遺伝子 2章 遺伝情報の分配	遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について理解する DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解する			
			1	1	3章 遺伝情報とタンパク質の合成 期末考査		
	7	5	3編 生物の体内環境の維持 1章 体内環境	体内環境が保たれていることを理解する			
第二 学期	8						
	9	6	3編 生物の体内環境の維持 2章 体内環境の調節	体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解する			
			10	1	中間考査		
	11	10	3編 生物の体内環境の維持 3章 免疫	免疫とそれにかかわる細胞の働きについて理解する			
			1	1	期末考査		
12	4	4編 生物の多様性と生態系 1章 植生の多様性と分布	陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解する				
第三 学期	1	10	4編 生物の多様性と生態系 2章 気候とバイオーム 3章 生態系とその保全	気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解する 生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解する 生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識する			
			2	1	学年末考査		
	3	1	1年間のまとめ				
評価の方法			定期考査、授業中に実施する小テスト、提出物で総合的に評価する				